

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ぶれみあむ		公表日		年 月 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		お子様の状態や状況、特性を考え場所を変更したり区切る等工夫をしている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		100%		基準より多く配置をしている。	基準より多く配置をしている為、このまま継続していきたい。また、ご利用者様や保護者様のニーズや相性なども考えながら配置を行ってきたい。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		80%	20%	イラストや言葉、写真を使い、ご利用者様が見て分かりやすい様に工夫をしている。	現在バリアフリーにはなっていないが、駐車場から屋内に入るまでの通路の補修や手摺を付けるなど改善を行う事が決まっている。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		100%		一日の最後に必ずご利用者様が使ったもの、触った箇所全て消毒をしている。活動内容に合わせて、部屋を設定している。	今後も施設内は常に清潔を保ってしていきたい。また、その時期に流行っているウイルスに対応した除菌方法を徹底していく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		100%		お子様の状態や状況を見ながら、個室で対応できる環境にしている。	保護者様のご依頼や、お子様の状況で個室での対応を行っている。室温などが調整できる様にエアコンの設置を予定している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		平日（長期休み以外）の午前中に行っているミーティングを活用し話し合いを行っている。	今後もミーティングなどで情報交換を行い支援内容の振り返りをし、評価と改善を行って。話し合いの内容は全スタッフで共有していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		集計結果をスタッフに伝えている。また、日々の保護者様との会話の中で保護者様の意向を聞き取り改善に繋げている。	評価表や保護者様からの意向を聞き取り、それを活かし業務改善に繋げている。今後も保護者様との信頼関係を深め、業務改善に努めたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		平日（長期休み以外）の午前中に行っているミーティングを活用し意見交換を行っている。	ミーティングの時間以外でも職員間や管理者へ意見を発信できている。今後も職員が躊躇うことなく何事にも積極的に行動できる環境作りをしていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		内部監査の結果を管理者だけでなく、スタッフ全員で共有し業務改善に繋げている。	毎月チームでの内部監査、3か月に一度の外部チェックを行っている。毎月のチェックが無理なくできるやり方を考えていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		誰でも受けてみたい研修に参加できる様に、研修の情報はスタッフに周知している。	内部研修は年間スケジュールを基に行っている。外部研修に参加する機会を増やしていきたい。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		支援プログラムを作成し、公表している。	スタッフがいつでも見れるように事務所に支援プログラムを掲載している。支援プログラムを基に活動の幅を広げていきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		保護者様とお子様の様子のお話しをしたり、スタッフ間で話し合いをしている。	保護者様からのお話しや、スタッフ間での話しを活用し分析、作成をしている。今後もニーズや課題の把握に努めたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		スタッフが参加するミーティングで話し合いをし共通理解をしている。	今後もミーティングなどで情報交換を行い支援内容の振り返りをし、評価と改善を行って。話し合いの内容は全スタッフで共有していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		スタッフが参加するミーティングで共有し支援に繋げている。	ミーティングの際に一人ひとりに合った活動内容を話し合い支援に繋げている。今後も継続していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		保護者様に記入して頂いたアセスメントや、日々の支援記録を使用し確認をしている。	保護者様が作成してくださったアセスメントを基に支援をしているが、今のお子様の状況や特性の把握に努め、お子様の成長に合わせた支援を行っていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		お子様の日々のご様子や、保護者様のニーズ、担当者会議の内容を基に具体的な内容で支援内容を設定している。	お子様の特性やレベルに合わせた支援内容を設定している。今後も保護者様のご希望や、スタッフからの情報を大切に、より良い放課後等デイサービス計画を作成していきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		日々のミーティングで活動担当者が発信をし、スタッフ全員で話し合いをしている。	活動担当者が立案をし、ミーティングなどでスタッフからの意見を集め作成をしている。今後も継続していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		月の行事や個別の目標なども取り入れ工夫をしている。	季節の行事や、新しい取り組みなどを取り入れていく。今後は保護者様からのご要望も取り入れながら色々な事にチャレンジしていきたい。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		日々のお子様の様子をスタッフ間で共有し、支援に繋げている。	ミーティングなどでお子様の様子を話し合い、一人ひとりに合った活動内容を計画し実行している。今後も沢山の案を出し合い支援に繋げていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		平日のは当日の朝、土日祝は前もってミーティングなどで話し合い計画をしている。	ミーティングの際に前日の振り返り、当日の活動内容の確認、担当決めを行っている。スタッフ全員が発言している為時間がかかってしまうので、時間配分に気を付けたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		緊急時はその場で報告をし、共有をしている。何かある場合は連絡ノートなどを活用している。	その日あった事は翌日のミーティングで振り返りを行っている。今後も緊急時は必ずスタッフを集め話し合いその場に居ないスタッフにも周知していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		毎日支援記録を記入している。また、活動の様子なども記録をし共有をしている。	一人ひとりの支援記録を記入している。またスタッフ間でお子様のご様子を情報交換し改善に努めている。記入者が偏らないようにしていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		日々のミーティングで上がった情報なども活用している。	今後も保護者様からの話や、児発管の目線だけでなく、スタッフからの情報も取り入れながら見直しを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		お子様、保護者様、スタッフからの意見を大切にしている。	活動内容が固定化しない様に内容を変え、色々な要素を取り入れながら行っている。今後も季節の行事や保護者様からの要望などを大切にしていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	100%		活動内容によって様々だが、自己決定を進めていく活動を行っている。	自己決定が無理なくできる様に、活動の中で楽しみながら自己決定ができる様な活動を考えていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		事業所を会議の場所として提供をし、会議に参加している。	お子様の特性や、様子をよく知っている児発管や、管理者が主に参加している。今後も継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		事業所近くに協力医療機関がある。	スタッフにも病院名、場所の周知を行っている。今後も継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		毎月ご利用者様のリストを提出している。下校時間など発行されたプリントや、アプリを活用している。	学校が発行している月間、年間スケジュールの確認や、学校の先生とのお子様の様子、状態の共有を徹底して行っている。継続していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		契約の際に保護者様が作成してくださったアセスメントを活用している。	今後も保護者様からの情報や、相談支援員、担当者会議での情報も共有していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		移行前、移行後に情報共有を行っている。	お子様のニーズや、特性、デイサービスでの支援内容、また、保護者様のニーズなどの情報を共有している。今後も継続していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		誰でも受けてみたい研修に参加できる様に、研修の情報はスタッフに周知している。	感染症対策により参加ができていない。今後は少しずつ参加をしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		今は交流をする機会はないが、集団行動や外でのルールを守る練習を行っている。	少しずつ外での活動を増やし、一般の方が居られる施設に出かけるなどしていきたい。他害や自傷、パニックになった場合お子様の安全確保が課題。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		メールやファックスで届く会議の案内を毎日チェックしている。	毎年ネットワーク会議に参加をしている。色々な方法で調べ協議会へ参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時や管理者が持つ管理者携帯電でお子様のご様子や困りごとなど共有をしている。	送迎時に保護者様とお子様のその日のご様子や、ご家庭での様子をお話しし、課題などを共有をしている。話が長くなり送迎がおしてしまうこともあるので余裕を持った送迎を作成していく。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		保護者様との信頼関係を第一とし、お悩みやご要望をすぐにご連絡頂ける体制を整えている。	送迎時や管理者携帯電話を活用しお悩みやご要望をすぐに解消できるようにしている。今後も継続していく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		ご契約の際に必ず説明を行っている。	ご契約の際に説明を行っているが、送迎などの際にご質問などあればその都度お答えをしている。今後も継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		担当者会議や送迎時での保護者様からの情報を共有し意向の確認をしている。	デイサービスでのご様子とご家庭でのご様子が違うお子様が多く居る為、今後も保護者様と密に情報を共有し、お子様の意思や保護者様の意向を正確に汲み取っていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		保護者様に直接説明を行い、同意を得ている。	お会いできる保護者様には直接お会いし丁寧な説明を行っている。今後も継続していきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		お悩みや、困りごとはいつでもご連絡頂ける体制を整えている。	いつでもご相談や、ご要望を連絡頂けるように管理者携帯電話を活用している。今後も保護者様との信頼関係を大切に、送迎時などでも気軽に相談頂けるようにしたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		一昨年から保護者懇談会を開催している。	コロナウイルスの影響で開催できていなかったが、一昨年から保護者懇談会を開催することができている。今後も感染対策をしながら開催していきたい。保護者の皆様を知って頂ける様に毎月発行している新聞や送迎時の会話の中で伝えていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情窓口を設けている。お悩みや、困りごとはいづれでもご連絡頂ける体制を整えている。	送迎時や管理者携帯電話を活用しお悩みやご要望をすぐに解消できるようにしている。今後も苦情に繋がる前に保護者様との会話を密に行っていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月発行している新聞にて活動内容や日々のご様子を発信している。	毎月発行している新聞に日々のお子様のご様子や、活動内容を掲載している。保護者様にお渡しする際に詳しく説明を行いより興味を持って頂けるように努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報の取り扱いについて、正しくスタッフに周知している。	個人情報に記載している言葉はこどもやスタッフのマイピネットや鍵付きの事務所で管理を行っている。事業所だけではなく外に出た際も、書類やファイルに載っている名前などが見えない様にするなど、今後も徹底していきたい。
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		日々の関わりの中で、お子様に合った意思疎通の方法を共有している。	お子様との意思疎通で成功した方法など、何か発見があればその都度保護者様と共有をしている。今後も継続していく。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%	以前は開催をしていたが、感染症対策の為今は開催できていない。	以前は保護者様や地域の方々を招待したバザーを開催していた。今後は感染症対策をしながら少しずつ開催をしていきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		色々な種類のマニュアルを用意している。月に一度避難訓練を行っている。	保護者会等でマニュアルについての説明を行い周知を図っている。マニュアルや避難訓練の様子などは送迎時や新聞を活用しお伝えしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		避難訓練の年間スケジュールを基に毎月避難訓練を行っている。	地震、火災、水害、不審者の避難訓練を実施している。ただ行うだけではなく、実際に起きていると全スタッフが緊張感を持ち今後も続けていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	80%	20%	保護者様からの情報提供を受け確認をしている。	保護者様から事前に情報を提供して頂き、発作時の対応方法など正確にスタッフ間で共有をしている。今後も継続していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	保護者様からの情報提供を受け確認をしている。	保護者様から事前に情報を提供して頂き、対応方法など正確にスタッフ間で共有をしている。今後も継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全管理マニュアルを基に支援を行っている。	安全管理マニュアルを全スタッフが持ち歩いている。今後も安全管理について正しく理解をし支援をしていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		保護者様全員に安全管理マニュアルを配布し説明を行っている。	安全管理マニュアルを保護者様全員に配布している。今後も保護者会や新聞などで説明を行い知って頂く。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハットの記録を残し、スタッフ間で共有している。	今後も継続してヒヤリハットの記録をし同じことが起きないようにスタッフ間で対策を考え実践していく。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		年間スケジュールを基に内部研修を実施している。	スタッフ全員が参加した会議で研修を行っている。また、虐待防止委員会を設け、定期的に会議を行っている。今後も継続していく。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	20%	80%	原則として拘束はしない。	今後も保護者様には契約時に身体拘束防止についての説明を行い、同時にプレミアムでは原則として身体拘束はしない事も説明をしていく。	